

# 令和6年度 シラバス 【古典探究】

1 1 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	4	1 2	4	2
<b>教科書</b>			<b>学習書・その他教材</b>	
高等学校 標準古典探究 (第一学習社)			学習書：高等学校 標準古典探究課題集 (第一学習社)	

<b>グラデュエーション・ポリシー</b>	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。</p> <p>②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にすると心と行動力を育成します。</p> <p>③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。</p>
<b>カリキュラム・ポリシー</b>	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～</p> <p>①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。</p> <p>②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。</p> <p>③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。</p> <p>④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。</p> <p>⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。</p>

### 学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

### 学習内容

(1) 古文：説話「古本説話集：平中が事」	(第1回レポート)	} (1)～(5) 前期試験範囲
(2) 古文：物語「竹取物語：火鼠の皮衣」	(第2回レポート)	
(3) 漢文：三国志の世界「赤壁之戦」	(第3・4回レポート)	
(4) 古文：随筆「徒然草：奥山に、猫またといふものありて」	(第5回レポート)	
(5) 漢文：不思議な世界「売鬼」	(第6回レポート)	
(6) 古文：随筆「枕草子：雪のいと高う降りたるを」	(第7回レポート)	} (6)～(10) 後期試験範囲
(7) 古文：日記「蜻蛉日記：泔坏の水」	(第8回レポート)	
(8) 漢文：項羽と劉邦 「史記：四面楚歌(時 利あらず)(項王の最期)」	(第9・10回レポート)	
(9) 古文：物語「大鏡：弓争い」	(第11回レポート)	
(10) 漢文：諸家の思想「韓非子：法者王之本也」	(第12回レポート)	

### 学習方法

【レポート】日本の古典の中心をなす中古から中世にかけての作品と、漢文を読みます。「読む」ために、古文は現代仮名遣いに直すこと、漢文は書き下し文に直すことが重要です。古語の意味や現代語訳、問は教科書と学習課題集を読んで解答してください。くまなく読めば解答できるはずですが。

【授業】本文内容の解説を中心に進めます。文法的なものは学習課題集では理解しがたいものもあるので、授業で説明を付け加えます。また、レポートで扱わない単元も学習します。

【試験】試験には主にレポートの学習内容を確認する問題を出します。また、授業で強調した所は試験に出やすい所です。授業にできる限り出席することが成績アップにつながります。

### 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。	古典を読んで、内容および思想や感情を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	古典に対する知識を深め、作品の内容について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。

### 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

### 担当者からの一言

教科書をしっかりと読み、学習書を参考にしてレポートに取り組んでください。レポートの問題についてよく考え、無解答を残さないようにして提出しましょう。また、義務時数は多くはありませんが、日常生活に役立つ内容を学習するので是非出席してください。授業に出席してもわからない問題があるというときは遠慮せず質問してください。

なお、レポートは、皆さんが自学自習で身につけた力を確認するためのものです。レポートで取り上げられている教材以外の作品等もしっかりと読み、学習書を参考にして学習を進めてください。